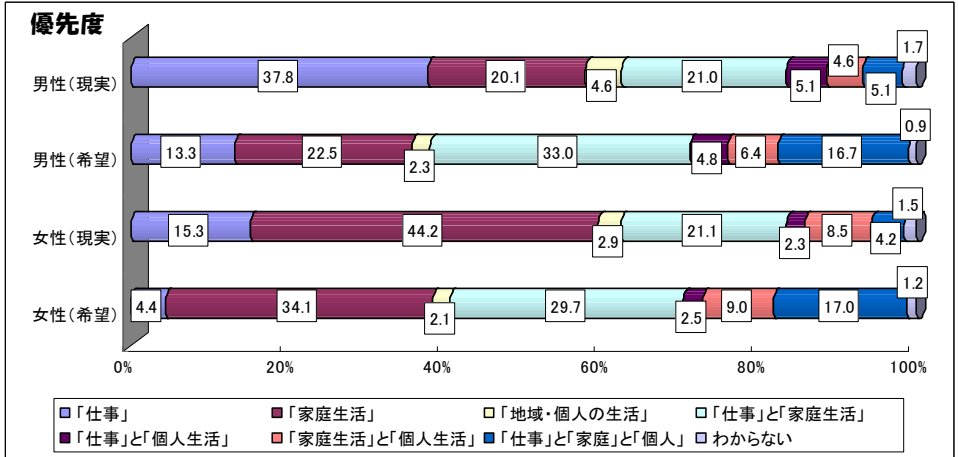
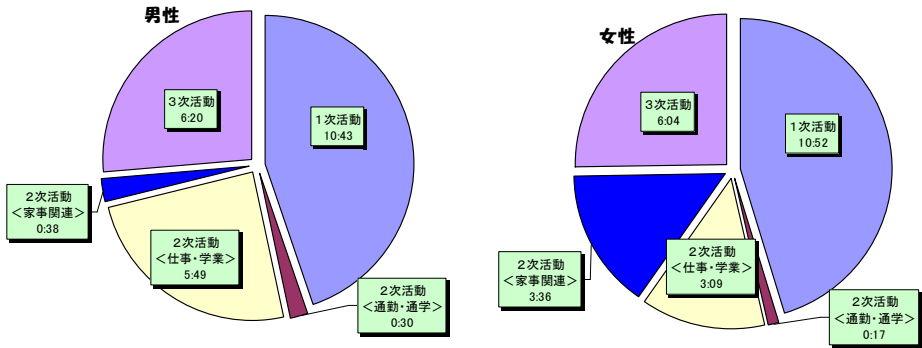


生活時間をみてみると・・・

男性では、「仕事」を優先と希望した人の3倍近い割合の人が、現実には「仕事」優先となっています。一方、女性では、現実には「家庭生活」を優先した人の割合が、希望した割合より高くなっており、男性も女性も希望と現実には大きな乖離があることがわかります。また、男性は「仕事」と「家庭生活」、女性は「家庭生活」を優先と希望する人の割合が高いことがわかります。



実際の生活はどうなっているでしょうか。山梨県の男性と女性を比べてみると・・・



(総務省「社会生活基本調査」(H18))

このグラフは、男性と女性の生活時間の平均です。

1次活動と3次活動に大きな違いはみられませんが、2次活動の内訳は異なります。

また、この調査では、男性は妻が働いていてもいなくても『家事関連時間』に大きな変化はみられないことも分かっています。

＜夫の家事関連時間：共働き28分、夫のみ有業40分＞

＜妻の家事関連時間：共働き4時間19分、夫のみ有業7時間11分＞

＜1次活動＞睡眠、食事など生理的に必要な活動

＜2次活動＞仕事、家事など社会生活を営むうえで義務的な性格の強い活動

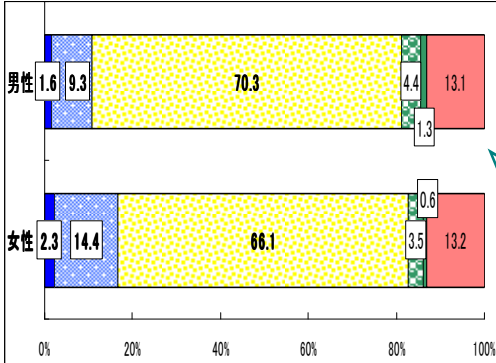
＜3次活動＞1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動



今の社会は平等？どうなっているの？

「世論調査」(前出)で、各分野の男女の地位の平等感についても調査しました。

■ 男性の方が非常に優遇されている ■ どちらかといえば男性の方が優遇 □ 平等
 ■ どちらかといえば女性の方が優遇 ■ 女性の方が非常に優遇されている ■ わからない



学校教育において

「平等」と考えている人は

男性: 70.3%

女性: 66.1%

意識の差は4.2%

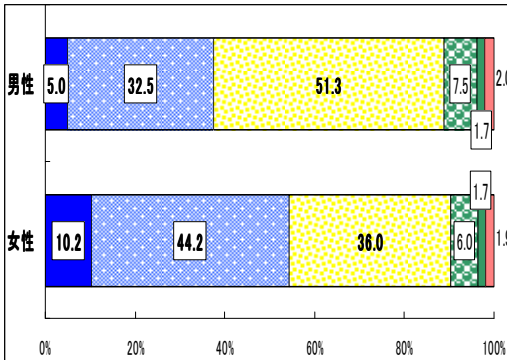
「男性優遇*」と考えている人は

男性: 10.9%

女性: 16.7%

意識の差は5.8%

多くの方が平等と考えています。



家庭生活において

「平等」と考えている人は

男性: 51.3% ← 半数以上

女性: 36.0%

意識の差は15.3%

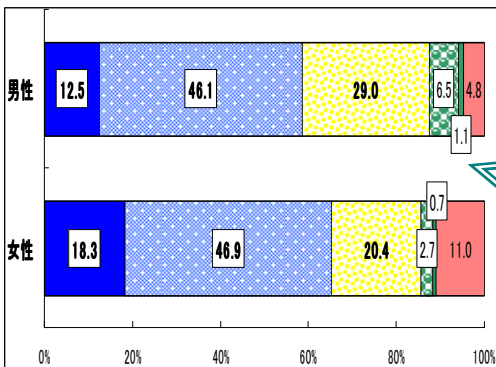
「男性優遇*」と考えている人は

男性: 37.5%

女性: 54.4% ← 半数以上

意識の差は16.9%

意識の差が大きいのでは・・・。



職場において

「平等」と考えている人は

男性: 29.0%

女性: 20.4%

意識の差は8.6%

「男性優遇*」と考えている人は

男性: 58.6% ← 半数以上

女性: 65.2% ← 半数以上

意識の差は6.6%

男女とも半数以上の方が「男性優遇」と考えています。

◆ 男性優遇*: 「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇」

デートDV・・・聞いたことがありますか？

デートDVとは・・・

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは「配偶者や恋人など親密な関係にある、又は以前そういう関係にあった者からふるわれる暴力」のことですが、恋人同士の間で起こる暴力を『デートDV』と呼んでいます。

デートDVはこんなにあります！

【交際相手から何らかの暴力にあたる行為を受けた経験のある人】

(「男女間における暴力に関する調査(H21)」(内閣府))

暴力を受けた経験者は、女性13.6%、男性4.3%

女性の7～8人に1人が恋人から暴力を受けた経験があると回答しています。

なぜ暴力が起きるのでしょうか？

交際相手を自分の所有物のように思い込み、交際相手の個性や人格を尊重しないで、一方的に自分の価値観を押し付けたり、束縛したりするなどの行為により相手を支配しようとするから起こるのです。

どんなことが暴力となるのでしょうか？ (これは一般的な事例で、これ以外の暴力もあります。)

身体的な暴力	殴る、蹴る、首を絞める、髪を引っばる、物を投げつける など
精神的な暴力	大声で怒鳴る、無視をして口をきかない、人の前でバカにしたり、命令する 殴るそぶりや物を投げつけるふりをして脅かす、お金を返さない など
性的な暴力	性行為を強要する、ポルノビデオやポルノ雑誌をみせる など

これもデートDVです！～恋人間の携帯電話トラブル～



例えば・・・

- 携帯電話の中身を勝手にチェックする
- 携帯電話に自分以外の異性のメールやアドレスがあると消させたり、勝手に消去する
- ひんぱんに電話して、どこで誰と一緒にいるかを常にチェックする

こんなトラブルで悩んでいる人はいませんか？

自分でも気が付かないうちに、「愛」と思い込み、恋人を、限度を超えて束縛したり、束縛されたりしていませんか？

デートDVを防ぐために

暴力はどんな理由があっても、絶対に許されません。「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」といった固定観念にとらわれず、相手の個性や人格を尊重し、健全で対等な関係を築きましょう。

一人で悩まずに、相談してください！

家族や学校の先生などの身近な人のほかに、相談窓口があります。(秘密厳守)

配偶者暴力相談支援センター

・女性相談所 TEL 055-254-8635 (平日 9:00～20:00)

・男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合) TEL 055-237-7830

(第2・4月曜日を除く毎日 9:00～17:00)



男女共同参画社会って・・・

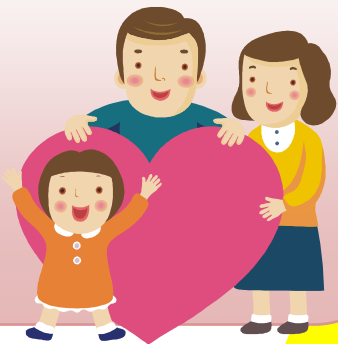
お互いの人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことをいいます。

それは・・・

一人ひとりが自分を大切に、相手を大切に、お互いを理解し合うためにコミュニケーションをとる、そして、「男だから」「女だから」ではなく、「私」を信じ、自分らしく生きていく、そんな社会のことです。

家庭では・・・

◆家事、子育て、介護など、家族みんなで分担して協力し合います。



学校では・・・

◆人権の尊重を基本とし、性別にとらわれず、男女の平等、相互理解、協力について学びます。
◆一人ひとりの個性や能力に応じ、主体的に進路選択がなされます。



職場では・・・

◆性別に関係なくその能力を十分に生かせる環境を整備します。
◆個人の価値観やライフスタイルに応じて多様な働き方が選択できるようにします。



地域では・・・

◆男女が共に積極的に地域活動に参加します。
◆一人ひとりの生活や地域にあったボランティア活動やNPO活動に参加します。



脳内チェックコーナー



「Yes」か「No」で答えてください。



- ① 女子は文系、男子は理系の勉強が向いていると思う。
- ② 生徒会長や学級委員長は男子、副委員長や書記は女子が良い。
- ③ 「男の仕事」と「女の仕事」がある。
- ④ 共働きの家庭で、妻ではなく夫が育児休業をとるのはおかしい。
- ⑤ 男性が残業や休日出勤などで長時間働くことは、仕方がない。
- ⑥ 職場でお茶出しや掃除を女性だけが行うことを特におかしいとは思わない。
- ⑦ 家庭内の重要な事項を決断するのは、男性（夫、父など）の役目だと思う。
- ⑧ 男性（父、夫、息子など）は、家事や育児をする必要はないと思う。
- ⑨ 子どもの参観日に出席したり、PTA活動に参加したりするのは、母親の方がよい。
- ⑩ イクメン、カジメンという言葉は聞いたことがない。



「Yes」が
0～2個

マシュマロ脳

あなたの脳はとても柔らかいです！何でも吸収するBest脳です(*^_^*)



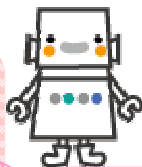
「Yes」が
3～7個

カレーパン脳

外から見ると中は柔らかい。そんなあなたはまだまだ味わい深くなりそう！これからが楽しみな人ですね★

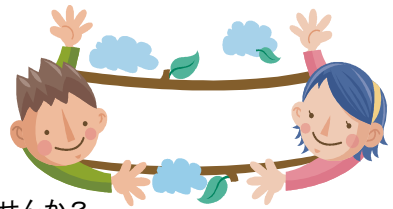
ガキガキ脳

思いこんだら突き進んでいく一途なタイプ?! 固定観念に縛られているかも……。脳トシてみましょう！秘めた可能性がたくさんありそうです。



「Yes」が
8～10個

私らしく



「私はこうだ!」「男だから」「女だから」と決めつけていませんか?
「こう言われたから・・・」と諦めていませんか?無理していませんか?
もう一度あなた自身を見つめ、あなたらしい生き方について考えてみましょう。

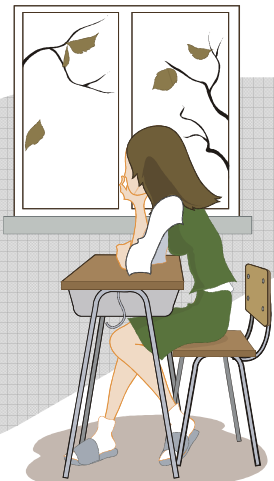
あなたには可能性があります。未来があります。夢があります。
可能性を、未来を、あなた自身を信じて、前へ進んでみましょう。
未来への道を自分で閉ざしてしまうのは、もったいないことです!

「一人ひとりがそれぞれの個性や能力を伸ばし、自分らしく生きていくこと」
「自分を大切にすること」
「相手を大切にすること」
「お互いにコミュニケーションをとること」
～とても大事なことです。心の中にとどめてください。～

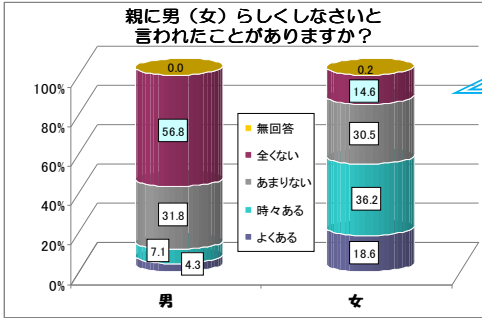
ひとりひとり

～谷川俊太郎～

ひとりひとり違う目と鼻と口をもち
ひとりひとり同じ青空を見上げる
ひとりひとり違う顔と名前をもち
ひとりひとりよく似たため息をつく
ひとりひとり違う小さな物語を生きて
ひとりひとり大きな物語に呑みこまれる
ひとりひとりひとりぼっちで考えている
ひとりひとりひとりりでいたくない
ひとりひとり簡単にふたりにならない
ひとりひとりだから手がつなげる
ひとりひとりたがいに会うとき
ひとりひとりそれぞれの自分を見つける
ひとりひとりひとり始まる明日は
ひとりひとり違う昨日から生まれる
ひとりひとり違う夢の話をして
ひとりひとりいっしょに笑う
ひとりひとりどんなに違っていても
ひとりひとりふるさとと同じこの地球



「高校生の生活と意識に関する調査(H16)」((財)日本青少年研究所)によると

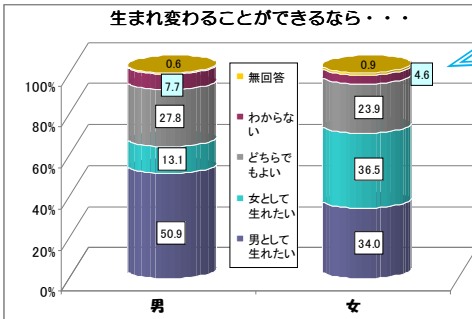


「男(女)らしくしなさい」と言われたことがある

男子: 11.4%

女子: 54.8% ← 半数以上

男子と女子では差があります！



「生まれ変わることができるなら・・・」

男子 男: 50.9% 女: 13.1%

↑ 半数以上

女子 男: 34.0% 女: 36.5%

男子は、おおよそ半数の人がまた「男」として生まれたいと思っています。

女子では「男」と「女」の割合が同程度になっています。

男女によって意識に差がみられます。



大人の方へのメッセージ

皆さんが子どもだった頃、「男(女)らしく」「男(女)のくせに」と言われたことはありませんか。

男女共同参画社会基本法が施行されてから10年が経ちました。制度の面では様々な整備がされていますが、意識の上では、「男」「女」という枠に縛られていることもあります。

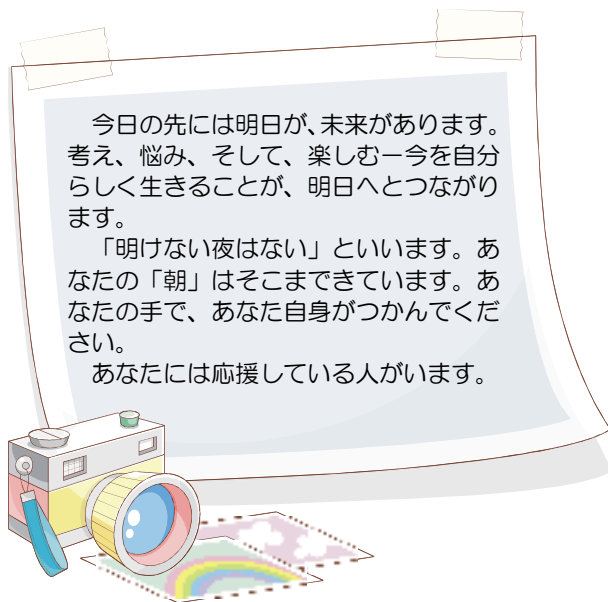


自分でも気が付かないうちに、子どもへの言動、態度の中に表れて、子どもたちの考えや行動に大きな影響を与えているかもしれません。



私たちは、子どもたちの一番身近なロールモデル(手本)です。子どもたちを見守っていくと同時に、私たち大人が「自分らしさ」を大切にし、相手の「自分らしさ」を大切にする姿を示すことが、子どもたちの明日へとつながっていくのではないのでしょうか。





今日の先には明日が、未来があります。
考え、悩み、そして、楽しむ—今を自分
らしく生きることが、明日へとつながり
ます。

「明けない夜はない」といいます。あ
なたの「朝」はそこまできています。あ
なたの手で、あなた自身がつかんでくだ
さい。

あなたには応援している人がいます。

発行にあたって

山梨県は、お互いの人権を尊重し、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現を推進しています。それは、お互いを思いやり、大切にし、理解し合い、自分らしく生きていく社会のことであります。

将来を担っていく子どもたちには、考え、悩みながら、社会で生きていく力を身に付け、自分らしく生きていってほしいと願っています。

私たち大人もお互いを思いやり、自分らしく生きていくと同時に、子どもたちを見守り、応援していける人間でありたいと思います。

この機会に親子で話してみてください。この冊子がその一助になることを願っています。

【企画／発行】

平成22年5月

山梨県企画県民部県民生活・男女参画課

協力：山梨県教育委員会

〒400-8501 甲府市丸の内 1-6-1

TEL 055-223-1358 FAX 055-223-1335

E-mail: kenmin-skt@pref.yamanashi.lg.jp

